

## トピックス



大阪市北区天満橋 1-8-75 TEL 050-3160-6763  
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

## ナラ枯れを防げ！ ～船上山国有林で国際森林年にあわせて防除活動を展開～



現地でトラップテープの巻き方を指導している様子



作業終了後に撮影した集合写真



事前に行われた検討会の様子

【鳥取森林管理署】5月31日（水）国際森林年の特別企画として、大山山系の船上山国有林（鳥取県琴浦町）において、全国的に問題になり周辺市町村で被害が拡大している「カシノナガキクイムシによるナラ枯れ」防除活動と同時に「国際森林年の～森林を歩く～」にあわせたキャンペーン活動の一環として国立公園内の名勝、船上山国有林で、関係機関やボランティアに呼びかけ防除活動を展開しました。

カシノナガキクイムシの防除方法については「カシノナガキクイムシ」という大きな帯状の粘着力のあるトラップテープをミズナラの木に巻き付け、付着した虫を調べ、カシノナガキクイムシが飛散拡大していないかを早期にキャッチする方法で、事前に環境省米子自然環境事務所や県の研究機関などの専門家の意見を元にトラップ区域を設定しました。

当日はあいにく前日の大雨で足が悪い中、かつ登山道を25分も歩く場所でしたが、当署の職員をはじめ環境省米子環境事務所、米子野鳥保護の会、大山生態系保護地域保全管理協力員など合計32名が参加、粘着テープを慣れない手つきで巻き付ける作業を行いました。

また、報道関係者が取材にかけつけ、テレビ放映をはじめ、翌日の地元新聞へ掲載されました。

参加した米子野鳥の会のメンバー遠藤敏實さんは

「マツクイムシなど次々に里山の原風景が消失している今だから危機感を感じ参加した、次代を担う子供たちの為にもこのような積み上げを重ねて行きたい」と語っていました。

この防除活動は本年7月末を目途に粘着テープにカシノナガキクイムシが付着していないか、毎週定期調査を行い県に連絡、合同被害分布調査のモニタリングを行うとともに、通年にわたり鳥取森林管理署で被害がないか警戒巡視を行う予定です。

**ナラ枯れとは、**甲虫・カシノナガキクイムシが病原菌の媒介者となり、伝播し引き起こされたブナ科樹木の伝染病をいう。

全国の里山林では、1930年代から被害の記録があるとされている。

里山林では、1970年代後半から松枯れが目立ち始めた。1980年代からは散発的なコナラ、ミズナラ、シイ、アラカシなどの集団枯死、いわゆるナラ枯れが目立つようになる。

さらに、1990年前後から被害が顕著となり、2009年には26府県にまで被害が拡大している。

関連ホームページ  
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/tottori/>

## 地域ニュース

京都大学大学院の学生 13 名が  
嵐山国有林を視察

【京都大阪森林管理事務所】5月31日（火）京都大学大学院の学生 13 名が、嵐山国有林における地元住民と連携を図った治山事業について、視察に訪れました。

学生達が普段学んでいるのは、景観生態保全論だそうです。視察にあたっては、当所より高山流域管理調整官と高津治山調整官の 2 名が対応しました。

現地では、治山調整官の案内により、嵐山国有林の林内の視察を行いました。

国有林と桂川（大堰川）の間の市道を歩きながら、地形は急峻で下層植生のない状況を理解してもらいました。治山工事木柵工等の構造物を設置するより、植生によって、本来、森林が持っている機能が果たされるのが理想ですが、急斜面・観光地・シカの被害等の多くの要因により、対策が難しいことを説明しました。

限られた時間であったこともあり、法的な制限等難しい内容も含め一度にたくさんのことを説明したため、わかりにくかったかもしれませんが、学生達は、メモをとりながら何かを得ようと一生懸命聞いていました。



治山工事の現地を見ながら職員の説明に耳を傾ける大学院生

学生からの質問のひとつに工事を行う優先順位について、「保安林の機能高めるため、事業の必要性はわかるが、もっと緊急に迫られた危険箇所があるのではないか。限られた予算の中でどのように箇所付けしているのか。」との質問がありました。

「災害が起きた場所や、今にも災害が起きそうな場所については、優先度に関係なく工事を行いますが、その他の箇所については総合的な判断が求められるところです。今後いかに安価で簡単に、それでいて大きな効果が得られるような工事ができるかは、私たちの大きな課題です。さらに勉強してもらい、研究者として、行政を担う者として将来ぜひ参加してください。」として勉強会を終えました。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/kyoto/>

平成23年度 国有林モニター会議  
(第1回・滋賀県)を開催

【企画調整室】近畿中国森林管理局では、国有林を開かれた「国民の森林」とするよう取り組んでおり、国民の皆さまのご意見やご要望を国有林行政に反映させるため、管内70名の方に「国有林モニター」として、近畿中国森林管理局の取組に関する情報提供やモニター会議、アンケートなどを通じ、ご意見をお伺いしています。

今回、6月22日に国有林モニター会議（第1回）を開催し、滋賀県内の国有林で現地見学及び意見交換会を実施しました。

はじめに、甲賀市の黒滝国有林・大河原国有林において、治山事業施工箇所を見学しました。

モニターの方々からは、崩壊地の現状を目の当たりにして「崩壊を食い止め、植樹等により緑化を図ってほしい」や「人工物は自然の生態系を壊す意識が強かったが、防災のための治山事業の必要性を再認識した」等のご意見をいただきました。

続いて、大津市の別所国有林において、森林整備事業地と木造文化財等の修復に必要な檜皮ひわだの採取対象林を見学し、その後、意見交換会を実施しました。

意見交換会では、当局の取り組みや森林・林業行政への要望など、次のような意見が寄せられました。

- ★森林環境教育の場として国有林のフィールドを活用したい。
- ★治山事業は今後も最新技術を導入し、災害防止に努めて欲しい。
- ★民有林には手入りの行き届かない森林も多くあり、国によるサポートにより森林を守って欲しい。
- ★林業における雇用の創出をお願いしたい。
- ★モニター会議で間伐や枝打ち等の体験を行ってみたい。



崩壊地の復旧工事箇所を見学するモニターの方々

檜皮の採取林地を見学する様子

今回の会議で得られた貴重なご意見・ご要望を今後の国有林野の管理経営に反映させるよう努めていきたいと考えています。

関連ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

## 遊々の森「名称：森の幼稚園ひかり」 で森林教室を開催（大亀谷国有林）

【奈良森林管理事務所】6月4日（土）奈良市にある大亀谷国有林において、奈良森林管理事務所と遊々の森の協定を締結しているひかり幼稚園が、遊々の森「森の幼稚園ひかり」で、年長園児を対象に森林教室を開催しました。

ひかり幼稚園では、園児達に森林や自然を大切に育てる気持ちを育てることを目的に、保護者と一体となり、幼稚園から近く入林しやすい大亀谷国有林をフィールドとして、森の中で遊ばせるなどの活動を行っています。



参加者（親子）全員で記念撮影



職員の説明を聞きゲーム等で楽しむ園児達



林内を歩き回り観察する親子

当日は、年長園児48名と保護者が参加し、大西指導普及担当主幹が森林内での注意事項の説明を行いました。

その後、森林内を観察しながら自然界にある様々な形や模様のおもしろさに気づいてもらう「フィールドパターン」や色々な形の葉っぱを集め長さや大きさを比べ葉っぱの多様性を感じてもらう「葉っぱじゃんけん」、集めた葉っぱと動物や昆虫とのつながりを感じてもらう「自然大好き大事探し」を行いました。

園児達は、友達やお父さんお母さんと一緒に森林内にある様々な形や模様を探すため、色々な角度から観察していました。また、動物と植物のつながりにも興味を示し、お父さんやお母さんとまた一緒に来たいなどの感想も聞かれ、楽しい一時を過ごすことができました。

関連ホームページ  
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/nara/>

## トライやる・ウィーク 山崎西中学校2年生が職場体験

【兵庫森林管理署】5月30日から6月3日までの5日間、宍粟市立山崎西中学校の2年生8名が「トライやる・ウィーク」活動として職場体験を行いました。

ふだん学校ではできないことや、生徒がやってみたいと思うことを、一週間学校を離れて存分に挑戦することから「トライやる・ウィーク」と名付けられました。

この活動は、学習の場を地域に移し地域の人々と共に一週間を過ごし、様々な体験活動や地域の人々とのふれあいを通じて、生徒の心を育てたいという思いから行われています。

当署は毎年生徒を受け入れており、今年は立木調査や測量、枝打・間伐作業を体験したほか、入り込み者の多い林道沿いのクリーン活動を行いました。

また、今年の国際森林年のテーマである「森を歩く」として、音水林木遺伝資源保存林の天然スギ・ヒノキの大木の森を歩きました。

予定した5日間、職員の指導のもと真剣に取り組み、有意義な職場体験となりました。

生徒からは、「枝払いがめっちゃ楽しかったので、休憩のときもしていた。」「間伐は難しかったけど、楽しかった。」「少花粉スギがあるなんてびっくりした。」「木が大きびっくりした。」「木が頑張って曲がりながら生えていた。」などの感想が聞かれました。

「トライやる・ウィーク」とは

- ・トライする  
(やってみる。新たなことに挑戦する。)
- ・トライアングル  
(学校、家庭、地域が連携して生徒を育てる。)



署長の説明を熱心に聞く中学生



ノコギリで杉の枝打ち体験をしている様子

関連ホームページ  
<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/hyogo/>



## お知らせ



## グループ対抗里山デジカメ選手権 ～身近な森林の再発見～

近畿中国森林管理局では、里山の現状や役割、そして里山の再生には人のかかわりが重要であることを人々に伝え、里山の再生・整備や森林環境教育の推進などに資していくため、今年度も「身近な森林(もり)の再発見!!」をテーマとして、下記のとおり「グループ対抗里山デジカメ選手権」を実施します。

里山に代表される身近な森林を対象として、森林の中に暮らす動植物や森林づくり作業・森林環境教育活動などの一瞬を切り撮った写真と、今年は国連が定める「国際森林年」にあたることから、そのテーマになっている「森を歩く」に関する写真も募集します。

## 記

1. 募集締切 平成23年8月31日(水) 必着
2. 応募規定 ①～③のジャンル毎に、グループを単位とした3枚組写真(2～3名で1グループ)
  - ① 学校関係グループ(小学校～高等学校)
  - ② 森林・林業に関する活動グループ(NPO法人等)
  - ③ 一般グループ(①②以外のグループ)
3. 写真 A4版カラー印刷(デジタル写真のみ)3枚1組
4. メッセージ 3枚1組に対して400～600字程度の事象の意味や背景、あるいは被写体と森林との関係や里山への想い、活動などに関するメッセージを添付
5. お問い合わせ先 箕面森林環境保全ふれあいセンター  
TEL 06-6881-2013  
FAX 06-6881-2055
6. その他 詳細につきましては、下記アドレスよりご覧下さい。

[http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo\\_fc/satoyama/dejikame/dezikame-torikumi.html](http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/satoyama/dejikame/dezikame-torikumi.html)

平成22年度 最優秀賞(林野庁長官賞) 作品



## 「氷ノ山自然探勝路の体験トレッキング」 及び「氷ノ山自然ふれあい館響の森見学」

緑の回廊の中心部に位置する「わかさ氷ノ山自然ふれあいの里」をフィールドとして、下記のとおりワークショップを開催することとしました。

「わかさ氷ノ山自然ふれあいの里」は鳥取県東南端部、若桜町の東に位置し、豊かな自然を満喫できる氷ノ山「自然探勝路」、自然を体感できる日本最大のジオラマブナ林のある「氷ノ山自然ふれあい館響の森」等、自然の中で思いっきり楽しめる場所となっています。

ワークショップでは、この「わかさ氷ノ山自然ふれあいの里」を巡るトレッキングを行い、緑の回廊や野生鳥獣との共生を目指した森林づくりなどについて、参加者みんなで考えます。

## 記

1. 日時 平成23年7月30日(土)  
10時00分～16時00分
2. 実施場所 鳥取県八頭郡若桜町  
「わかさ氷ノ山自然ふれあいの里」
3. 募集人員 40名(先着順とします。)
4. 申込期限 平成23年7月26日(火)
5. 服装 長袖、長ズボン、山歩きできる靴
6. 持ち物 水筒、帽子、軍手、タオル、雨具など
7. 参加費 1人 1,000円(保険料及び昼食代)
8. 集合場所 「わかさ氷ノ山自然ふれあいの里」  
氷ノ山自然ふれあい館 響の森
9. 集合時間 平成23年7月30日(土)  
午前9時50分まで
10. お問い合わせ先  
近畿中国森林管理局 指導普及課 保護林係  
TEL 06-6881-3523  
FAX 06-6881-3564
11. その他 詳細につきましては、下記アドレスよりご覧下さい。

[http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sodateyou/higasi\\_chugoku\\_ws.html](http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sodateyou/higasi_chugoku_ws.html)



## 森林のギャラリー(局庁舎1階)

【7月の展示スケジュール】

7/11～7/22

割り箸1膳の革命(ポスター、割り箸・木工品展示)

【京都女子大学生命環境研究会】

7/23～7/30(土曜日、日曜日も開催)

五番街ドールハウス作品展

【ドールハウス五番街】